

# アサクサから5年後のキミへ（後編）

第三次アサクサ戦争を背景に繰り広げられる  
前後編シナリオ。悲しい別れをした少年少女  
達が、5年という時を経て、再び運命に導か  
れ再会する。

（掲載日：2015.2.1）

## プレアクト情報

## PRE-ACT INFO

### ■シナリオ基本情報

#### ▼作者

chihaya (twitter : @chihaya023)

#### ▼プレイヤー人数

3人

#### ▼想定プレイ時間

5～6時間

#### ▼シナリオタグ

ストリートキッズ、前後編、クロニクルプレイ

### ●このシナリオについて

前後編のショートキャンペーンシナリオの後編である。必ず前編を遊んだ後、同じメンバー、同じキャストで遊ぶこと。

前編からの5年の空白を経て、キャストたちの変わった部分、変わらなかった部分などを想像しながらアンダーワークを行うといいだろう。

### ●シナリオレギュレーション

本シナリオの想定レギュレーションを以下に記載する。使用するデータの変更やRLが調整を行った場合、改めてレギュレーションを提示すること。

#### ▼使用経験点

40～100点

#### ▼達成値制限

最大達成値は25前後を想定している

#### ▼スタイル制限

特になし

### ■アクトトレーラー

キャスト作成の前に、以下のアクトトレーラーを読み上げること。これはアクトのイメージを膨らませるのに役立つ。

あの戦争から5年の月日が流れた。

街は喧騒を取り戻し、人々は日々の暮らしに追われていた。

新しいアサクサは戦争の傷を覆い隠すかのように急速に変化していく。

だが、その中に彼女の姿はない。

自らを犠牲にして、この街を守った彼女の姿は。

トーキョーNOVA THE AXLERATION

『アサクサから5年後のキミへ（後編）』

咲かせよう。もう一度あの花を。

何もかもが加速していくこの街で。

## アサクサから5年後のキミへ（後編）

## ■キャスト作成

プレアクトシート（アクトトレーラー、ハンドアウトなど）を参考にキャストを作成すること。

## ●キャストの成長（リビルド）

本シナリオでは、前編で使用したキャストを成長、ないしはリビルド（『TNX』p160）して使用することになる。前編アクトで得た経験点などを使用してよい。

前編と後編のキャストの対応は以下のとおり。

『①イヌ』＝前編での『①カゼ』

『②クグツ』＝前編での『②カタナ』

『③ニューロ』＝前編での『③ニューロ』

## ●特記事項

本シナリオは「アサクサから5年後のキミへ」の後編となる。前編を先にプレイすること。ハンドアウトは前編で推奨したスタイルで書かれているが、実プレイ時はPLの選択したスタイルに沿って運用すること。

各キャストは前編終了時から5年年齢を加算すること。どのようなキャストに変化したか、スタイルチェンジも含めてRLと相談すること。

## ●ゲスト紹介

## ▼三嶋咲（ミストレス◎）

キャストたちと幼少期を共に過ごした女性。今は河渡咲としてアサクサ戦争の敗北により、カーライルに預けられている。元河渡連合のトップ河渡亮平の遺児。母親はヴィルヌーブ系女性のため欧米風の容姿をしている。現在22歳。

## ●必要な神業

敵の神業だけでキャストが死亡しないためには最低2つの防御系神業が必要である。また、『制裁』  
《完全偽装》《電脳神》にはシナリオ中に使用想定がある。

## ●主に使用する技能

本シナリオの情報収集で主に使用する技能は〈社会：警察、ストリート、企業、テクノロジー〉などである。

## ■キャスト間コネクション

キャスト間コネは、以下の順で取得する。

『①イヌ』→『②クグツ』→『③ニューロ』→『①イヌ』

## 各キャストのシナリオコネ

推奨シートは設定されているが、PLとの相談で別のものに変わってもいいだろう。『②クグツ』と小上紫乃が『生命』の関係だっている。5年経たないことはそういうことだ。

## アクトハンドアウト

各キャストには右記の設定が推奨・あるいは追加される。  
キャスト作成時によくプレイヤーと相談すること。

- ①『イヌ』：レイの勤めでブラックハウンド機動捜査課の隊員となった。
- ②『クグツ』：天鵬院悠羽と千子刀治の勤めで千早重工後方処理課の工員となった。
- ③『ニューロ』：フリーのハッカー兼情報屋。

## ★共通ハンドアウト

SCENARIO HANDOUT

## コネ：三嶋咲

推奨シート：感情

身を挺してアサクサを守った咲が、カーライルに連れて行かれてから5年の月日が流れた。彼女に関する情報は厚く高い壁の向こうにあり、窺い知ることはできなかった。

アサクサの街は復興し、戦争の傷は徐々に癒えていった。そして街の人々は咲のことを忘れ始めていた。だが、キミたちは彼女のことを忘れるようもなかった。もう一度4人が揃うまで、キミたちのあの日は戻ってこないのだから。

【SPS：咲を取り戻す】

## ①推奨スタイル：イヌ

SCENARIO HANDOUT

## コネ：レイ

推奨シート：感情

キミはブラックハウンドの隊員としてこの街で戦うイヌだ。千早冴子からレイにリーダーは代わったものの、機動捜査課は変わらず精力的に捜査にあたっている。キミは度々目かになるカーライルへの捜査令状請求を御堂隊長に却下された。咲を取り戻すためにはカーライルに手を出さなければならないのだが、壁は厚い。落ち込むキミにレイはある提案をした。それはカーライルのトップであるクーゲルに直接会いに行くというものだった。

【PS：レイの提案にのる】

## ②推奨スタイル：クグツ

SCENARIO HANDOUT

## コネ：小上紫乃

推奨シート：外界

千早での生活はキミの人生を一変させた。最新式の装備、情報、そして大事な3人以外の仕事仲間。日々はめまぐるしく過ぎ、任務ではなんども死線をくぐった。そして今、キミはもう駆け出しとは呼ばれない実力と名声を備える一人のサムライとなっていた。そしてキミに新たな任務が下る。アサクサ方面で暗躍するテラウェアの謀報網の破壊というものだ。5年前のアサクサ戦争以降、北米企業の同地への侵入は加速していった。それは千早としては好ましい流れではない。キミは因縁の地アサクサへと再び戻ることにした。

【PS：テラウェアの謀報網を破壊する】

## ③推奨スタイル：ニューロ

SCENARIO HANDOUT

## コネ：河渡白夜

推奨シート：外界

キミはアサクサにいながらウェブ世界を駆け巡るニューロだ。アサクサ戦争により街は荒廃したが、それは古い価値観の一掃にもつながった。結果キミはニューロとして名をあげることができた。キミには5年前から追いつける標的がいる。河渡白夜だ。5年前彼の陰謀は確かにあった。しかし、あの時手に入れた記録素子は、残念ながら陰謀の全てを明らかにしてはくれなかった。その白夜が稲垣司政官が主催するパーティーに出席するという情報を入手した。敵はカーライルだけではない。咲を取り戻すためキミは行動を開始した。

【PS：河渡白夜の陰謀を暴く】

# RL用テキスト

TXT 4 RULER

## ■ストーリー

アサクサ戦争の代償として、カーライルへの人質になった咲を救うことを決意するキャストたちに、咲の計報が飛び込んでくる。真相を解明するにはクーゲルに直接話を聞く以外にない。

キャストたちはクーゲルから咲が生きていること、しかし自らの死を望んでいたことを教えられる。咲の過去を調べるため、アサクサの病院跡へと向かったキャストたちは、そこで咲の秘密を知ることになる。

本物の河渡咲は既に死亡し、今、行方がわからなくなっている咲は、5年以上前に河渡白夜が用意した替え玉だというのだ。咲は河渡白夜によって記憶操作と洗脳をされていたのだ。

咲とヒルコ街で再会したキャストたちは、真実を知ってしまった咲と新たな関係を構築する。

しかし、カーライルから開放されても河渡白夜が咲から手を引かなければ、咲がアサクサへと再び戻ることとはできない。キャストたちは5年前に墨田川にあ

がった身元不明死体の調査を行う。そして映像のオリジナルを見つければ河渡白夜を追い詰めることが判明する。

ヒルコ街にて、身元不明死体がドギー・ジョンというトーカーであることを突き詰めたキャストたちは、彼の奇妙な習慣からトーカータワーを目指す。そこには白夜と連携するテラウェアの工作員「翁」の姿があった。翁は咲に仕掛けられた暗示を使い、咲にキャストを襲わせる。翁と咲を操るミミールを倒し、河渡白夜にオリジナルの映像を証拠として突きつけ咲を解放すればシナリオ終了となる。

## ■クライマックスへの条件

すべてのリサーチ項目が終了し、イベントシーン「テグジュベリの誓い」にてオリジナルの記録素子の場所が判明し、トーカータワーへ向かえばクライマックスへと移行する。

# オープニングフェイズ

OPENING PHASE

## ●オープニング1：レイ変わらず

シーンプレイヤー：『①イヌ』

登場：不可

### ◆解説

『①イヌ』のオープニング。ブラックハウンド本部でレイと会話するシーン。

### ◆描写

何回目かの捜査令状を御堂隊長に却下された後のこと。捜査課のオフィスでうなだれる『①イヌ』にレイが声をかけてきた。

レイは話を聞いた後、高速道路の封鎖権限の書類を出す。レイはイタズラを仕掛けるような子供の顔で、クーゲルを襲撃することを提案する。『①イヌ』が覚悟を決めれば課長権限でそのための準備を手配しようというのだ。

### ▼セリフ：レイ

「よお、どうしたしょぼくれた顔して。愛車をパンクでもさせたか？」

「あー。そのことか。隊長はおかたいからな。早々簡単に話は突かせてくれないさ」

「あの娘のことは俺もずっと気にしてる。ちょっと昔の知り合いに似てるところがあってな。……なあ『①イヌ』、お前さえよければ手はないことないんだぜ」

「〔囁くように〕クーゲルに直接話をつける。奴の行動を調べられるか？」

「後はお前が覚悟を決めるどうか次第だ。ただよく考えておけよ。最悪ハウンドを辞めさせられるかもしれない」

「覚悟が決まったらいつでも言ってくれ。俺はお前の力になるよ」

### ◆結末

レイとの会話が終わればシーン終了。(\*)

### レイの提案

『①イヌ』がこのシーンで結論を出す必要はないとPLに伝えること。



## 本シナリオについて

本シナリオではPLにある選択をしてもらうシーンがある。その選択の結果次第でその後の話の内容は変わってくるので、RLは慎重にその選択を迫るといだろう。

本シナリオに書かれている描写はあくまでベースである。前編を終えてRLはキャストたちの性格や設定を把握していることだと思う。その設定に合った描写やイベントに書き換えられれば、シナリオはよりあなたたちだけの物語になるだろう。

## ●オープニング2：あの街に戻る

シーンプレイヤー：『②クグツ』

登場：不可

### ◆解説

『②クグツ』のオープニング。小上紫乃から命令を受けるシーン。

### ◆描写

『②クグツ』は夢を見ている。それは咲が何者かに攫われ、トーキョータワーから落とされるという悪夢だ。悪夢から目覚め起きるとベッドサイドの通路には心配そうに覗きこむ小上紫乃の姿がある。

場面変わって執務室。そこにはいつもと変わらぬ顔をした紫乃がいる。彼女は任務を切り出す。

### ▼セリフ：小上紫乃

「大丈夫？ うなされていましたわ」

「あなたでもそういうことがありますのね。意外ですわ」

「(ちょっと口ごもってから) 先に行くわ。あとで会いましょう」

『②クグツ』さん。最近アサクサでテラウェアのエージェントが暗躍しているとの二課の分析が出ましたわ。あの場所に諜報網を構築されると厄介なことになります。あなたには調査と諜報網の破壊をお願いします」

「火種は大きくなる前に潰さなければ。消火をお願いしますわ」

### ◆結末

小上紫乃との会話が終わればシーン終了。

## ●オープニング3：古く新しい秩序

シーンプレイヤー：『③ニューロ』

登場：不可

### ◆解説

『③ニューロ』のオープニング。稲垣光平が主催するパーティー会場で河渡白夜と会話するシーン。

### ◆描写

ホワイトエリアにある「東京新市行政記念館」通称「稲垣屋敷」。各界の著名人たちが集う中、稲垣が下品な口上垂れている。視線を移すと河渡白夜が壁際に一人佇んでいる。

### ▼セリフ：稲垣光平

「げはははは。よく集まってくれた。この稲垣記念館おっと東京新市行政記念館では市政の今後を市民にわかりやすく知らしめていきたい」

「次の10年もこの俺様の時代だ。げはははは」

### ▼セリフ：河渡白夜

「おっと。これはこれは最近飛び鳥を落とす勢いの『③ニューロ』さんじゃねえか」

「そう怖い顔をするな。ここは司政官さまのパーティ

会場だぜ。変な騒ぎはゴメンだ」

「お前、あの男が司政官をやる前は何をやってたか知っているか？ そうハウンドの隊長だ。そしてその前はチンピラ同然のヒラ隊員にすぎなかった」

「奴はあの椅子に10年も居座るバケモノだが、人間には違いねえ。俺はなあの椅子に興味があるんだ」

「なぜ、こんな話をおまえにするかって？ 簡単だ。俺はお前を高く買ってるのさ。どうだ俺の下について見る気はないか？」

「(断った) 残念だ。お前は他のお仲間と違って俺と似たところがあると思っていたんだがな」

「咲のことは諦めろ。お前にどうこうできる問題じゃない」

「じゃあな」

### ◆結末

河渡白夜がさればシーン終了。

## ●オープニング4：その身を捧げて

ルーラーシーン

登場：不可

### ◆解説

咲とクーゲルが会話するシーン。

### ◆描写

斑鳩にあるカジノフリーダム。ここはカーライルのこの街での拠点でもある。居室のある廊下。ナイトガウン姿の咲が扉を叩く。その表情はひどく泣いた後なのだろう、目は赤く腫れ絶望に彩られている。

咲を一瞥したクーゲルは無言で部屋に通ず。降りしきる外の雨の音で、咲が何かを悲しげに訴える声はわずかにしか聞こえない。

長い沈黙を破ったクーゲルは銃を取り出し咲に向ける。咲は覚悟を決めたように目をつぶる。銃を握る手が一瞬だけ揺れるが、クーゲルは《とどめの一撃》を使用する。放たれる銃弾。部屋に響く銃声。そして場面は暗転する。

### ▼セリフ：咲

「すみません。こんな時間に。話があります。入ってもよろしいでしょうか？」

「……ですから私には人質としての価値がありません。いえ、もう生きている価値も……ないんです。こんな嘘ばっかりの私は……」

「お願いします。私を。私を殺してください!!」

### ▼セリフ：クーゲル

「……わかった。お前の悪夢は俺が終わらせる」

### ◆結末

《とどめの一撃》が使われればシーン終了。カーライルから河渡連合に対して咲の死亡が通達される。このことはキャスト達も知る事となる。



## ●オープニング5：悲しみの中で

シーンプレイヤー：『①イヌ』

登場：全員登場／SR：グリーン

### ◆解説

全員登場のオープニング。咲の葬儀のシーンとなる。

### ◆描写

ポツリポツリと降りだした雨はやがて何かを洗い流すかのように勢い良く降り始めた。

斑鳩共同霊園ではしめやかに咲の葬儀が執り行われている。咲の写真は5年前のままだ。その笑顔を彩るように咲の好きだった花が飾られている。

列席しているのはわずか数名ばかり。参加者の中に藤咲竜二の姿が見える。竜二はキミたちを見つけると沈痛な面持ちで話しかけてくる。

### ▼セリフ：藤咲竜二

「お嬢は高校を卒業したらアサクサで小さな花屋をやりたいって言ってたな。その時は俺に出資してほしいと」

「5年前彼女を引き渡す時、俺は恨むなら俺を恨めと。その気持ちは今も変わりはない」

「今回の件の詳細をカーライルは話そうとしない。病死という話を鵜呑みにするつもりはないが、こちらからどうこうできる状態じゃないのは確かだ」

「すまない。俺たちにできることはこうして彼女の死を悼むことだけだ」

### ◆結末

キャスト間で会話が終わればシーン終了。

# リサーチフェイズ

RESEARCH PHASE

## ●リサーチ1：ライド・オン・ジャック

条件：クーゲルのアドレスを入手後

シーンプレイヤー：『①イヌ』

登場：『①イヌ』の同意があれば自動登場／SR：レッド

### ◆解説

湾岸道路を封鎖後、『①イヌ』がクーゲルに『制裁』<sup>パニッシュ</sup>を使用し咲の生存を聞き出すシーン。(\*)

### ◆描写

湾岸高速道路で『①イヌ』とレイは愛車を走らせている。ターゲットであるクーゲルの乗る車はまもなく見えてくるだろう。捜査令状で取得した湾岸道路の封鎖は持って30分。その間にクーゲルの車を止め、彼から話を聞き出さなければならぬ。

レイはクーゲルの乗るリムジンに並走し、カタナを一閃、タイヤを見事にバーストさせる。急停車した車からクーゲルと護衛が姿を現す。護衛は銃を構えるが、レイの姿を見たクーゲルがそれを制止する。

### ▼セリフ：レイ

「準備はいいか？ よし。始めるぞ」

「うーん。俺たちまるで悪役だな」

「久しぶりだな。カール。手荒な真似をしたことは謝るよ。少しだけいい、こいつの話を聞いて欲しいんだ」

### ▼セリフ：クーゲル

「なんのつもりだレイ。ハウンドがマフィア同然の手口を使うとはな」

「あの娘のことか……。既に死んだ娘のことで何が聞きたい」

「《制裁》が使われた）そうか、お前があの娘が言っていた『①イヌ』か。……………わかった。お前には話

しておこう」

「あの娘は生きている。だが、どこに行ったかは知らん」

「あの娘は絶望していた。自ら死を望むほどの絶望を。それがなんなのかは俺から話すことはない。知りたければ自力で探すことだ」

「あの娘の今後に俺たちカーライルは関わる気はない」

### ◆結末

クーゲルとの会話が終わり、情報収集キーワード“咲の行方”が手に入ればシーン終了。

### 《制裁》の使用想定

《不可触》は咲の死の隠蔽に使われているが、その事実を暴くために、クーゲルの居所を《制裁》で割り出したと演出しても構わない。大事なものは『①イヌ』が自分の神業でカーライルの壁を排除することで、やり方は各々のキャストに合わせると良いだろう。

## ●リサーチ2：病院の地下には

条件：三嶋病院のアドレスを手に入れ、向かった

シーンプレイヤー：『③ニューロ』

登場：全員登場／SR：レッド

### ◆解説

三嶋病院の地下フロアを探索するシーン。終了後カット進行となる。

### ◆描写

キミたちは地下フロアに足を踏み入れた。周囲は暗くライトで照らさないと何も見えない。ライトを照らすと突然キャストたちの足元を特大のネズミが走り過ぎた。どうやらこの地下はどこかでヒルコ街とつながっており、実験用のラットがヒルコ化してようだ。用心しながら進む必要があるだろう。

### ▼セリフ：特大ラット

「キキキキッッッ」

### ◆結末

巨大なラットがキャストたちの前に現れるとシーン終了。即座に次のシーン（カット進行）へ。

## ●リサーチ3：廃墟となった病院にて

条件：「●リサーチ2：病院の地下には」の直後

シーンプレイヤー：「①クグツ」

登場：全員登場／SR：レッド

## ◆解説

中央制御室で敵トループとカット進行を行うシーン。カット進行終了後、描写2へ移る。

## ◆描写1

中央制御室を見つけたキミたちだったが、そこはミュータント化したラットの巣だった。縄張りを侵されたラットたちが一斉に襲い掛かってくる。

## ▼セリフ：特大ラット

「キキキキッツッ」

## ◆カット進行

敵トループは「TOS」p146の暴走ミュータントのデータを使用する。トループ数は20体を2グループ別エンゲージに配置する。キャストたちは1エンゲージ。距離は近とする。

## ◆描写2

ヒルコを撃退し、中央制御室を回復したキミたちは、残されたトロン内に病院の診療記録を発見する。復旧させたデータバンクには咲の診療についての記録が残されていた。判明した事柄は以下のとおり。

・河渡亮平とヴィルヌーヴ系の女の間に生まれた子である、河渡咲は既に死亡している。

・河渡白夜は死亡した河渡咲によく似た人物を用い、河渡咲とすり替えこの死を隠蔽した。

・その際、すり替えたその少女の記憶を薬物とサイコアプリによる暗示で操作し、容姿も遺伝子治療の技術で整形し、それを5年前まで続けた。

・本物の河渡咲が死亡した時期とそのすり替えが行われた時期は、データが散逸しているため不明である。（\*）

## ◆結末

描写2が終了すればシーン終了。

※キャスト達と出会い共に過ごした咲は、すり替えられた前なのか後なのかは不明である。これが判明するのは咲と会ってからイベントで判明する（正しくはPLが決める）と伝えること。

※咲は白夜によって利用されるために“作られた”人物であるということを強調すること。白夜の影響の排除が咲を自由にするには必要であるとキャストが理解することが大事である。

## ●リサーチ4：ヒルコ街にて

条件：「●イベント3」の後、ヒルコ街に向かった

シーンプレイヤー：「②クグツ」

登場：全員登場／SR：レッド

## ◆解説

ヒルコ街にて咲と出会うシーン。描写1終了後、描写2へと移行する。

## ◆描写1

スラムにあるヒルコ街へと向かう。そこは猥雑ながら活気に満ちた様相を呈している。時刻は夕方、見慣れないキミたちをジロジロと見る視線も気になるが、歩を進めていくと、子供たちがはしゃぎながら走ってくる。その後ろを咲が追いかけている。

咲はキャストたちの姿を見つけると驚き立ち止まる。そして大きく息を吸うとくると振り返り逃げ出す。捕まえるどころから石が飛んできてキャストたちに当たる。子供たちが咲を守るために石を投げているのだ。

驚いた咲が子供たちにやめさせようとするが、その途中で泣き崩れてしまう。呆気にとられた子供たちは石を投げるのをやめる。

## ▼セリフ：子供たち

「やーい、咲のノロマー。ピンクのパンツなんか似合わないぞー！」

「おい！ お前ら咲から手を離せ！」

## ▼セリフ：咲

「待ちなさい！ 今度という今度は許さないんだから！……えっ？」

「待って！ やめて！ この人たちは、この人たちは私の……私の……ううっ（泣き出す）」

## ◆描写2

泣き止んだ咲はキャスト達を自分が世話になっているという街の顔役の家に案内する。部屋に通されテーブルを4人で囲む。咲は最初平静を装って話し始めるが告白の途中でまた泣き始める。

## 死亡時期の不明

データの失われているが、《電脳神》などの神業では復旧できないと伝えること。また、死亡時期を判明させる方法は後のイベントシーンであることを伝えること。

## ▼設定

「私、やっと自分の本当の気持ちがあった」

キャストたちと幼少期を共に過ごした女性。今は河渡咲としてアサクサ戦争の敗北により、カーライルに預けられている。元河渡連合のトップ河渡亮平の遺児。母親はヴィルヌーヴ系女性のため欧米風の容姿をしている。現在22歳。

## ▼神業

《ファイト！》×3

No Image

## ■三嶋咲

ミストレス=ミストレス=ミストレス●●

## ◆セリフ：咲

「みんな久しぶりだね。元気だった？」  
「『①イヌ』はハウンドに入ったの？ 制服似合ってるよ」  
「『②クグツ』はえっともしかして会社勤め？ わあびっくりした」  
「『③ニューロ』はふふふ。なんか大人になったね」  
「みんな変わったんだね。でも、私は……私、みんなに謝らなければならないことがあるの。私ずっとみんなを騙してた。自分でも気づいていなかったけどずっとずっと騙してた。私は河渡咲じゃなかった。みんなの仲間じゃなかった。みんなと一緒にいる資格なんて最初からなかったの」  
「ごめんね。ここまで探しに来てくれたのかもしれないけど、私はみんなの知ってる咲じゃないかもしれない。“咲”って人の記憶を持ってるだけの別人かもしれないの」  
「そのことをこの間ようやく思い出したの。白夜、あの人が私を私の記憶を……」  
「死のうと思ったの。でも、できなかった。ある人が『全てを失っても生きる』って、だから私ここに……」  
「私自身もいつから“咲”になったか記憶が混濁して思い出せないの。みんなと遊んだ思い出も、あの赤い塔でみんなに受け入れてもらえたあの記憶も全部まやかして、誰か他の人の記憶かもしれない。こんなあたしじゃみんなの側にまた一緒にいるなんてできないよ！」  
「ダメなの。いつから私が“咲”なのか。それが思い出せないの！」

## ◆結末

咲との回想シーンに移行したらシーン終了。

## ●リサーチ5：咲の傷

条件：ヒルコ街にての直後

シーンプレイヤー：『②クグツ』

登場：全員登場／SR：レッド

## ◆解説

咲との回想シーン。その後腕の傷を確かめる描写2へ。咲がいつすり替えられたのかを確定させるシーン。

## ◆描写1

回想シーン。咲とキャストたちが初めて会った頃。咲と『①イヌ』、『③ニューロ』は知り合っているが『②クグツ』とは初対面というシーンだ。

『②クグツ』はいじめっ子のグループに集団でいじめを受けていた。そんな『②クグツ』を咲がかばう。その時に『②クグツ』が持っていたナイフが偶然、咲の腕を斬り二の腕に深い傷を負ってしまう。にこやかに大丈夫を繰り返す咲だが、徐々に血の気が引いていく。その時に負った傷は大人になっても残ったままだった。

## ▼セリフ：いじめっ子たち

「お前みたいな汚い奴がいたら、汚れちまう。あっち行ってろ！」

「うわ。咲がきた。ヤバイ逃げろ！」

## ▼セリフ：咲

「やめなさいー！ あんたたち小さい子相手に何してるの！」

「まったく小さい子いじめるとか将来ハゲるわよ！」

「大丈夫？ 怪我はない？ 私は咲。あなたのお名前は？」

痛っ

「えーと、えーと、平気平気、このくらいの傷なんともないから。だから心配しないで。ね？」

## ◆描写2

傷の話をする咲は驚いたかのようにその腕を隠す。咲はゆっくりと服の袖をめくり腕を見せる。傷は……。

## ▼セリフ：咲

「傷……覚えてる。覚えてるよ。でも、もし傷がなかったら？」

「なかったら私は……私、本当にみんなとの思い出が嘘になっちゃうよ？」

「(傷があった場合) あった。傷が、あった……。じゃあ、みんなとの思い出は幻じゃなかったんだね。私みんなと仲間でいいんだよね」

「ありがとう。ありがとう。みんな」

## ◆結末

咲との絆を取り戻したらシーン終了。

※傷の有無はPLが決める。それによって咲の扱いは変わるだろう。ここでは傷があった場合を想定している。(1)

## 傷の有無

咲がいつすり替えられたのかを判断する方法はこれ以外にないものとする。咲の傷の有無しをどう選択するかが、このシナリオの見せ場である。PLがどのような判断をするかRLはじっくりと見守ろう。

## ●リサーチ6：テグジュベリの誓い

条件：咲の傷の直後

シーンプレイヤー：『③ニューロ』

登場：全員登場

### ◆解説

ヒルコ街にて顔役から身元不明死体の話を聞くシーン。咲を連れて行くことに同意したならば、咲は《ファイト！》をキャストそれぞれに一つずつ使う。増やす神業はPLが選択すること。

### ◆描写

落ち着きを取り戻した咲はキャストたちにヒルコ街訪問の訳を聞く。その後、咲が世話になっている顔役から話を聞く。

#### ▼セリフ：咲

「でも、どうしてみんなここに来たの？ 何か調べ物？」

「そういうことなら私がお世話になっている人から何か聞けるかもしれない。この街のことについて詳しいから」

「お願い。私も行かせて。足手まといになるかもしれない。でも、今度こそ自分で自分を見つけないの」

「ありがとう。みんな」

#### ▼セリフ：顔役

「咲が泣いていたから心配したが、どうやら杞憂だったらしい。咲がそんな笑顔を見せたのは初めてのことだ。咲はいい友だちを持ったようだね」

「私に何か聞きたいことがあるかね？」

「ふーむ、5年前となるともしかしたらドギー・ジョンのことかもしれない」

「ドギー・ジョンというのはこの街の住んでいたちよつと変わった男でね。トーキーとして働いていたんだが、5年前に姿を消してしまっただ。キミたちが言うその男はおそらくドギー・ジョンだろう」

「それにドギー・ジョンの家はやはり5年前に火事で焼け落ちてしまったのだよ。今は、別の住人がそこに家を立ててしまっている」

「……そうだ。昔、ドギー・ジョンと酒を飲んだ時にやつはこんなことを話しておった。『自分の撮ったものは全部あの街のどこかに埋めてきた』と」

「やつは奇妙な習慣があつてな。仕事で撮ったものを特徴的な建物の下に埋めておくんだそう。そうやって自分の宝物が埋まっていることで、街の景色が変わって見えるようになる。なんてことをアサクサの街を見ながら言っておった」

「しかし、アサクサの街も先の戦争でほとんどが燃えてしまったそうじゃないか。ん？ どうしたのだ？ なにか心あたりがあるのかな？」

### ◆結末

キャストたちがトーキョータワーに向かえばシーン終了。

## ■情報項目

リサーチフェイズ開始時に調べることが出来る情報  
キーワードは以下のとおり。

全員共通：咲の死、アサクサの現状

『①イヌ』：カーライルの動向

『②クグツ』：テラウェアの動向

『③ニューロ』：河渡白夜、記録素子

### ◆咲の死

〈社会：ストリート、警察、テクノロジー〉

12 遺体はカーライルの手で既に火葬され、河渡側はその死体を見ていない。

16 警察に提出された死亡届には不審な点があったが、黙殺させたようだ。咲の死に関してアンタッチャブル《不可触》が使用されている。

### ◆アサクサの現状

〈社会：ストリート、警察、企業、テクノロジー〉

10 5年前のアサクサ戦争によって多くの名所、建物が焼失したが、現在は建て直しが進められ以前の外観を取り戻している。その中でもトーキョータワーは唯一5年前の姿を保っている。またN◎V Aスカイツリーに代表される新しい名所も増えてきている。

12 アサクサ戦争の結果、南部のシマを河渡連合は失った。現在でもこのことは変わらず河渡連合のシマである北部とカーライルが傘下にした南部の摩擦は続いている。

### ◆カーライルの動向

〈社会：ストリート、警察、テクノロジー〉

10 アサクサ戦争以降、カーライルは安定したビジネスを求める派閥と（ビジネス派）、マードアインクを筆頭とする武闘派に分かれている。

15 数年前、ビジネス派は武闘派の牽制をするために咲を誘拐し、交渉材料にしようとした事件があったが、瞬間にマードアインクに殲滅された。事件以降、咲はクーゲルの側近くに置かれることとなり、咲の情報はより手に入りやすくなった。クーゲルのアドレスを入手する。

### ◆テラウェアの動向

〈社会：ストリート、企業、テクノロジー〉

12 河渡連合と日系企業のシマだったアサクサに、カーライルが進出したことにより北米系の特にテラウェアのエージェントが多数アサクサに入り込んでいる。

15 その統括をしているのは古参のエージェントである【翁】と呼ばれる人物だ。



## アサクサから5年後のキミへ（後編）

## ◆河渡白夜

〈社会：ストリート、企業、テクノロジー〉

- 10 アサクサ戦争以後、河渡のNo.2となった河渡白夜はアサクサのシマを失いながらも、その卓越した手腕で斑鳩などグリーンエリアを広く掌握し、河渡の復権を握るキーパーソンと言われている。今、彼を失えば今度こそ河渡連合は消滅すると見られている。
- 12 5年前の戦争でアサクサのほとんどの有名な建築物は焼失してしまったが、白夜はその復興に多額の資金を出している。アサクサと白夜の関係はまだ切れてはいない。
- 15 その一方で白夜はアサクサ戦争後、アサクサにあった地盤企業を幾つか処分している。その中には【三嶋病院】の名前がある。

## ◆記録素子

〈社会：ストリート、テクノロジー〉

- 15 5年前に墨田川にあがった身元不明のヒルコの遺体を持っていた映像記録素子。カーライルと三合会の秘密会談の中に、河渡白夜が共に映っている映像が残されている。しかし、断片化データを《電脳神》で復元したものであり、証拠能力は薄く決め手にかける。ヒルコ街出身と思われる持ち主の足跡を辿ることができれば、追加の証拠が得られるかもしれない。

## ◆翁

〈社会：ストリート、企業、警察〉

- 15 テラウェアの高級エージェントで、翁の面を常につけていることからその名で呼ばれる。元・レイド・アンド・ルーア<sup>デウス・エクス・マキス</sup>の工作員でG.C.I.解体後テラウェアに入っている。（\*）
- 18 アサクサだけでなく、スラム、ヒルコ街などにも手下を潜入させ諜報網を作り上げている。幾度となく他企業のエージェントと戦闘をしているが、圧倒的な力でこれを撃退している。その力は不死身とも称せられる。情報収集キーワード【翁の秘密】を入手。
- 21 5年ほど前から河渡白夜と取引を行っている。情報収集キーワード【白夜との取引】を入手する。これには《完全偽装》<sup>アンダカウア</sup>が使われている。解除には《電脳神》<sup>デウス・エクス・マキス</sup>を想定している。

## ◆三嶋病院

〈社会：企業、テクノロジー〉

- 10 アサクサ南部にあった総合病院。咲の養父が経営していた。今は建物のみが残る廃墟となっていて、「狐の面を被った音羽南海子の幽霊を見た」、「地下から泣き叫ぶ悲鳴を聞いた」など怪

談話が広まっていて誰も近づかない。

- 15 5年前までは咲は毎週この病院へと通院していた。現地に行けばなにか咲の情報が残っているかもしれない。三嶋病院のアドレスを入手する。向かえばイベント「病院の地下には」が発生する。

## ◆翁の秘密

〈社会：企業、ストリート、テクノロジー〉

- 15 翁はかつてG.C.I.が開発したバイオトロン型IANUSを装備している。そのIANUSによって常人の数倍の能力を手に入れているようだ。
- 18 そのバイオトロン型IANUSは、かつてG.C.I.がNOVAで開発を進めていた、ミミールと呼ばれるIANUSである。ミミールは人の潜在能力を極限まで引き出すことが出来る。（神業の使用回数が倍加する）かつてのミミールは使用者に適正がなければ暴走する欠陥を抱えていたが、現在は改良が進められ暴走を引き起こさなくなっている。
- テラウェアはアサクサだとある協力者を得て、このIANUSの改良を秘密裏に行っている。

## ◆咲の行方

〈社会：ストリート、警察、テクノロジー〉

- 15 咲の使用していた偽造バスのログを解析したところ、アサクサから墨田川を越えヒルコ街に入ったことが確認できる。アドレスを入手。（\*）

## ◆白夜との取引

- 神業 白夜と翁はかつてG.C.I.が研究していたバイオトロン型IANUSの研究において協力関係にある。そのバイオトロンは10年ほど前に千早の工作活動により壊滅したが、研究資料の一部はアサクサの施設に残されていた。白夜はそれ入手し、G.C.I.を吸収したテラウェアとの取引に使用している。
- アサクサでのテラウェアの活動は白夜との繋がりが背景にあるため、その関係を切ることができればテラウェアはアサクサから撤退する。情報収集キーワード【白夜と取引する方法】を入手する。

## ◆白夜と取引する方法

〈社会：ストリート、警察、企業、テクノロジー〉

- 21 5年前『③ニューロ』が長谷部万力から入手した、記録素子に残された映像が決め手になる。オリジナルの映像を見つける事ができれば白夜との取引が可能になる。

## 翁の素性

元R&Rの工作員である翁は複数人いるという設定をしている。そのため「TNX」p54のイワサキの翁とは別の人物である。

## 咲の行方

イベント、「病院の地下には」を経由しないとヒルコ街に行っても咲と会うことはできない。

## クライマックスフェイズ

CLIMAX PHASE

## ●クライマックス：あの赤い塔のもとで

## ◆解説

トーキョータワーで翁と操られた咲とのカット進行を行うシーン。描写1終了後、FS判定を含むカット進行へ移行する。

## ◆描写1

トーキョータワーは5年前と変わらずその姿を保っている。時刻は夕刻、キャスト達はドギー・ジョンが埋めた痕跡を探している。そしてそれはタワーの足元で見つかった。掘り起こすと嚴重に封印された記録素子を見つける。間違いのない。これがドギー・ジョンの残したオリジナルの映像だ。

キャスト達がそれを見つけると同時に暗がりから声が掛かる。翁の面をつけた人物が現れる。翁はヒルコ街の顔役の首を無造作に投げ捨てる。そして咲のミミールを発動させる。咲の顔から表情が消える。咲は《不可知》<sup>インコグニタ</sup>を使用し、オリジナルの記憶素子をキャストから奪い翁の横に立つ。ミミールに操られているのだ。

## ▼セリフ：翁

「おやおや。本当にそんなものが存在するとはこれは

驚きました」

「虫けらと侮っていたのは我々のミスでしたね。これは修正しなければいけません」

「しかし、千早のエージェントにハウンドの隊員。そちらもなかなか腕が立ちそうなニューロで、これは劣勢を覚悟せねばなりません。仕方がありません。私も奥の手を使わせていただきましょう」

「本来ならばカーライルの幹部を殺すために仕込んだ暗示だそうですが、こんな時に役に立つとはあの男も大したものですよ」

「ご安心ください。あなた方を殺した後、この娘も後を追わせますので。4人仲良くあの世へと旅立っていただきます！」

## ▼セリフ：咲（ミミール）

「……殺す。あなた達を……ここで終わりに」

## ◆カット進行

戦闘。敵は翁（<sup>1</sup>）、咲に寄生したミミール（<sup>1</sup>）の2人。翁はキャストから近距離、咲は中距離の場所にいる。

同時に「FS判定：咲を救え！」を行うこと。

戦闘終了条件は翁を倒すことだ。カット進行が終了したら描写2へ。

## 銃の神業数

装備しているミミールの効果で、神業の数が倍になっている。カット進行開始時の残り神業は《死の舞踏》2つ、《黄泉還り》3つ、《完全偽装》の効果を変更しているためである。

この内訳は戦闘開始前にプレイヤーに伝えること。

## ミミールに操られた咲

ミミールに与えたダメージは全て咲自身も受けるものとする。ミミールに《死の舞踏》を使えば咲自身が死ぬのだ。

名称

咲を救え！

制限

なし

敗北条件


3カット経過

支援判定

〈心理〉〈交渉〉

進行値	技能	目標値	進行修正	備考
初期	〈コネ：三嶋咲〉	10	1	
2	〈コネ：三嶋咲〉	15	2	
5	〈コネ：三嶋咲〉	21	3	

進行値  
カウンター

1	2	3	4	5	6	7		9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

▼イベント

初期：無表情のまま銃を構える咲は、まるでキミたちの知らない別人のようだ。しかし、信じなければ道はない。進行判定の「技能」は〈コネ：咲〉、「目標値」は10、進行修正は1とする。

進行値2：咲の表情にわずかに変化が見られた。このまま声をかけ続けろ。諦めなければきっと届く。進行判定の「目標値」を15、進行修正を2に変更する。

進行値5：咲が苦しそうな表情を浮かべる。悲鳴を上げる。ミミールの精神支配に抗っているのだ。もうひと押しだ！ 進行判定の「目標値」を21、進行修正を3に変更する。

敗北：カット進行終了後、咲はミミールの《とどめの一撃》で死亡する。

## ◆描写2

翁は倒されると、最後の力で咲のミミールに自害を命じる。理性を取り戻した咲が震える手で必死に抵抗するが、手に持った銃は咲のこめかみに当てられる。

FS 判定に失敗していた場合《とどめの一撃》をミミールが使用する。FS 判定に成功していた場合は、《とどめの一撃》は使用されず、キャストは演出で咲を止めることができる。

## ▼セリフ：翁

「……ふいふい。やりますね。この街の住む方々はやはり一味違う。だが、最後に置き土産を用意いたしましょう……」

## ▼セリフ：咲

「みんな。ご、ごめんね。私、みんなともっと一緒に居たかった」

「グスッ……やっぱり最後はみんなに助けられちゃった。ありがとう」

## ◆結末

翁とミミールを倒し咲を救えばシーン終了。

## エンディングフェイズ

ENDING PHASE

## ●共通エンディング：明けない夜はない

条件：エンディングフェイズ1 番目

シーンプレイヤー：『①カゼ』

登場：全員登場／SR：イエロー

## ◆解説

白夜に手を引くように伝えるシーン。

## ◆描写

河渡組の執務室。そこに白夜はいる。翁との連絡が途絶えたことで意図を察したのだろう、キャストたちが訪れると深くため息を付いて話を始める。

## ▼セリフ：白夜

「なるほどな。それが俺の首を絞めることになったか。ふっ。やはりこの街は甘くねえな」

「で、どうするんだ？ この俺をブタ箱に放り込むか？」

「だろうな。俺を排除すればお前らの大切なアサクサはまた火の海だ。それが出来るお前じゃない。要求を聞こうか」

「わかった。河渡咲から一切の手を引こう。俺達は今後あの娘の行末に関わることはない」

「あの娘になぜお前らがそんなに惹かれるのか分かるんが、俺が調べた話じゃカーライルの連中もお前らと同じような感じだったらしい。全く馬鹿馬鹿しい話だぜ」

「……案外、この街から抗争をなくすのはああいう娘なのかもしれない。ハッ！ 何を言ってんだ俺は」

## ◆結末

白夜が一人呟いたらシーン終了。

## ■個別エンディング

エンディング2から4はそれぞれのキャストのエンディングを行う。本シナリオではあえて記述を行わない。RLはPLとよく相談をし、PLの希望を優先し相応しいエンディングを演出すること。

ただし『②クグツ』のエンディングに関しては、咲に対して《完全偽装》を使用することを推奨する。咲が今後N◎VAで生きていくには、新しいIDが必要になるだろう。

## ●エンディング5：咲き誇る花

条件：エンディングフェイズ5 目目

シーンプレイヤー：ルーラーシーン

登場：不可

## ◆解説

このシーンは後日談となる。RLは以下の描写を読み上げシナリオを終了させること。

## ◆描写

事件から幾らかの時が経ち、アサクサに一つの小さな花屋が開店した。ヴィルヌーヴ系とおぼしき明るい女性店主は、道行く人々に分け隔てなく、その魅力的な笑顔を振りまき、たちまち街の人気者となった。

ある日、彼女のもとにミラーシェイド姿の壮年の男性が訪れた。女店主は彼に深々と頭を下げ礼を言う。男は去り際、一つの質問を彼女にした。「この街を恨んでいるか？」と。彼女は首を振り答えた。

「いいえ。いろいろなことがありました。でも、私は、この街が大好きです。ずっとずっといつまでも」と。

## ◆結末

描写が終わればシーン終了。

## アサクサから5年後のキミへ（後編）

No Image

## ■咲に寄生したミミール

バサラ、カゲ●●、カプトワリ

## ▼設定

「……安心して。苦しまないように殺してあげる」

咲のIANUSに寄生しているミミール。咲の肉体を操っている。

## ▼神業

天変地異□ 不可知■ とどめの一撃□

## ▼能力値

理性：8 / 13 感情：2 / 14

生命：5 / 10 外界：8 / 11

CS：7 (AR：1)

## ▼技能

射撃 4♣♠♥♦

知覚 2♠♣♥♦

運動 2♠♣♥♦

★自我 2♠♣♥♦

★回避 2♠♣♥♦

※障壁 5♠♣♥♦

※クイックドロウ 5♠♣♥♦

※制圧射撃 3♠♣♥♦

※必殺の矢 2♠♣♥♦

※死点撃ち 2♠♣♥♦

※ピンポイント 2♠♣♥♦

## ▼武器

・風狼 ..... 盾：8 / 電：16

攻：P+5 射：近～中 両手持ち

## ▼防具

・アーマージャケット ... 盾：12 / 電：12

※防 (S/P/I)：1 / 1 / 2

## ▼戦闘プラン

セッアッププロセスで〈制圧射撃〉を使用し、対象の【CS】を-5する。対象が一番【CS】の高いキャストを遇ふ。

基本的に【AR】は〈障壁〉で使うため、順番が回ってきた場合は待機を宣言する。【AR】が余った場合は以下のメジャーアクションを行う。

メジャーアクションは〈★射撃〉〈必殺の矢〉〈死点撃ち〉〈ピンポイント〉をする。達成値に+5、ダメージに差分値を追加する。ダメージ種別をXに変更する。与えたダメージ以下のチャートを指定する。10、11番などを狙う。

翁が肉体ダメージを受けた場合のみ〈障壁〉を使用する。【判定】に使用したカードの数字+7点、肉体ダメージを軽減する。

《天変地異》は移動妨害に使用。《とどめの一撃》は攻撃には使用しない。

No Image

## ■翁

カタナ、クグツ●●、チャクラ

## ▼設定

「優秀な人たちが。だが、それゆえに死ぬことになるのです」

テラウェアの作業員。元R&amp;Rのブラックオペ要員として、豊富な経験を持ち、更にミミールによって強化されている。

## ▼神業

死の舞踏□□ 完全偽装□■

黄泉還り□□

## ▼能力値

理性：9 / 14 感情：2 / 13

生命：9 / 15 外界：3 / 6

CS：10 (AR：1)

## ▼技能

知覚 2♠♣♥♦

運動 2♠♣♥♦

★自我 2♠♣♥♦

★回避 3♠♣♥♦

★白兵 5♠♣♥♦

※忠義者 1♠♣♥♦

※居合い 5♠♣♥♦

※軽功 5♠♣♥♦

※ハヤブサ 2♠♣♥♦

※縮地 2♠♣♥♦

※心眼 2♠♣♥♦

※忠誠 2♠♣♥♦

※無風剣 5♠♣♥♦

※葉隠 2♠♣♥♦

※修羅 2♠♣♥♦

※旋風撃 2♠♣♥♦

※土道 2♠♣♥♦

※二天一流 1♠♣♥♦

## ▼武器

・シャドウソード×2.... 盾：14 / 電：17

攻：S+7 射：至近 部位：片腕

## ▼防具

・鎖帷子 ..... 盾：15 / 電：-

・アーマージャケット ... 盾：12 / 電：14

・サイバーコート ..... 盾：15 / 電：18

所持しているアウトフィットの電制に常に+2 (適用済み)

※防 (S/P/I)：2 / 2 / 4

## ▼戦闘プラン

〈忠義者〉の効果で〈完全偽装〉の効果を〈黄泉還り〉相当に変更している。

セッアッププロセスで〈ハヤブサ〉〈縮地〉を使用し、【CS】に【判定】に使用したカードの数字+9する。

メジャーアクションは〈★白兵〉〈葉隠〉〈修羅〉〈無風剣〉〈旋風撃〉に組み合うならば〈二天一流〉を入れる。達成値に+5、ダメージに17点+差分値する。対象を範囲（選択）にする。〈※二天一流〉が組み合わせ、もう一度同じ攻撃をする。

リアクションは〈★回避〉〈運動〉〈心眼〉をする。達成値に+5する。【対決：不可】の物理攻撃にもリアクション可能である。

ダメージを受けた時は〈忠誠〉〈土道〉を使い、【判定】に使用したカードの数字+9点軽減する。1カット1回。



## ■本作品について

本作品は、株式会社エンターブレインより刊行された『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』や、その関連商品を取り扱った二次著作物（シナリオデータ）です。

『トーキョーN◎VA THE AXLERATION』とその関連商品、および『ゲーマーズ・フィールド誌』は、有限会社ファースト・アミューズメント・リサーチの著作物です。

本書の内容はフィクションであり、実在する歴史上の人物、団体、地名などとは一切関係がありません。

また、本書は特定の思想、信条、宗教などを擁護あるいは非難する目的を持って書かれたものではありません。

## ■利用規定

本作品は無料で自由にアクトに利用することが出来ます。

ただし、シナリオを使用した際には必ず、作者にシナリオやアクトの感想を送ってください。

シナリオ製作者にとって、なによりの励みは感想を貰えることです。

ホームページ (<http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>) の各シナリオのダウンロードボックス内のツイートボタンを押し、感想ツイートを投稿してください。

(このため、本シナリオを使用するには twitter アカウントが必要になります)

また、シナリオの利用の際には以下の規約をお守りください。

- ① シナリオの著作権は各シナリオの作者にあります。
- ② シナリオの再配布、商用利用はご遠慮ください。
- ③ 投稿されているシナリオを利用したリプレイやプレイ動画の公開、あるいはコンベンションイベントでの使用など、特殊な使い方に関しては事前に作者に連絡を取り、可否を確認してください。

トーキョーN◎VA THE AXLERATION 投稿型シナリオ共有サイト

NeuroCrowD

---

## 投稿シナリオ No.014 『アサクサから5年後のキミへ（後編）』

発行日：2015.2.1

執筆（著作権者） chihaya

イラスト なし

企画 ニューロ／CD製作委員会

DTP まだら牛

素材 Z-design

連絡用メールアドレス：dapple\_ox@gmail.com

サイトURL： <http://dappleox.web.fc2.com/nova/NeuroCrowD/>